



ふるさと副業・兼業 人材活用セミナー&個別相談会 in 横手会場

5月31日、横手市の横手セントラルホテルにて、秋田県プロフェッショナル人材戦略拠点主催の「ふるさと副業・兼業人材活用セミナー&個別相談会 in 横手会場」が開催された。「ふるさと副業・兼業」とは、地方企業と都市部のビジネスパーソンを繋ぐ、国も推奨する今注目のマッチングの形だ。第一部では「副業・兼業人材活用のポイント」についてセミナーが行われた。

株式会社リクルートサンカクグループの古賀敏幹氏は、なぜ今このスタイルが注目されているのか。コロナ禍により、企業は急激な変革を求められている。既存事業の見直しや強化、DX化…。だが、人材は常に不足し、担い手不足は深刻だ。一方で、首都圏の働き手はテレワークによって余暇時間が増加し、その時間を自己のキャリア投資に充てる人が増えている。副業・兼業を始める人が増えたのはそのためだ。また、彼らは金銭的な見返りよりも、地元や地方に貢献したいという働きがいを求めているという特徴がある。だからこそ、地方企業と副業・兼業人材がマッチングしているのだ。



古賀氏は、実際の事例などを交えながら、副業・兼業活用のポイントについて説明。参加者も真剣な表情で耳を傾けていた。

セミナーの後は個別相談会を実施。事前予約した約13社が具体的な課題についての相談を行った。

なお、このセミナー&個別相談会は7月に大館でも開催するほか、にかほ市と秋田市で順次実施予定だ。



株式会社 リクルート
ソーシャルリレーション推進部
サンカクグループマネジャー 古賀 敏幹 氏

地方の企業にとって、副業・兼業人材を活用することは大きなチャンスとなります。ただ、業務を外部委託するという考え方ではなく、経営者のビジョンやミッションに共感してくれる仲間を探し、ともに伴走してもらうことを意識して活用することが一番大切なポイントです。私たちも、良いマッチングのお手伝いをさせていただきますので、ぜひ今後のセミナー、個別相談にご参加いただければと思います。



参加者の声

株式会社 柴田畜産
代表取締役社長 柴田 諭 さん



生ハム「あつふる豚」

当社では食肉の総合卸や小売業などを行っています。近年、自社商品として地元のブランド豚「あつふる豚」を使った生ハム商品を開発しました。今回はその販路拡大の部分で、副業・兼業人材の活用ができればと思い、参加しました。セミナーでも副業・兼業人材活用の好事例として、販路開拓が挙げられていたので期待したいですね。個別相談で今後、実際にマッチングについて進めていくことになりました。